

リオトロピック液晶 (lyotropic liquid crystal)

液晶状態とは、結晶のようにその分子配列に一定の規則性を保ちながら、液体のような流動性を兼ね備えた状態をいう。ある種の有機結晶は、加熱によりいったん液晶状態になり、さらに高温にしたときに無秩序な液体になる。このように、温度変化により現れる液晶をサーモトロピック液晶という。一方、石けん分子や脂質などの両親媒性分子と水などの溶媒との共存系では、温度を変えなくても濃度を変えるだけで液晶状態が現れることがあり、これをリオトロピック液晶という。生体膜などの生態組織でよく見られる。

(佐藤)